

令和7年度第4回夜間中学開校支援委員会(R8.1.28)における主な内容及び意見

1.これまでの取組の報告

○第3回開校支援委員会（9/29）における協議内容の報告

○現在の入学対象者の状況について

- 現在37名の入学予定者、10代～80代まで幅広い年齢層、外国籍の方は5名
- オンライン講座の希望者は5名
- 面談を60名以上行った。中学校生活を支障なく送られた方や、日本語習得のみを目的とされる方は、入学の対象外としている

○体験教室、オンライン体験講座の報告

- オンライン希望の方は、顔を見せたくない方や、様子見であったりいろいろな方がいる。授業をしていく中で、少しずつ、そして丁寧に説明を行うことが必要また、アバター機能やリアクション機能は効果的で、繰り返していくと受ける側に参加している感覚が芽生えてくる
- 入学予定者のうち、半数近くの方が就労されている。就労されている方が入学される場合、職場や近親者の夜間中学への理解が必要である



○校章・校歌について

- 校章については、応募総数76件から、校章選定委員会で審議を行い、大分県立鶴崎工業高等学校 産業デザイン科3年 池本那奈さんの作品に決定したことを報告
- 校歌については、大分県出身の阿部真央さん作詞・作曲の「学びヶ丘」に決定したことを報告した後、県立芸術緑丘高校 音楽科 合唱選択の2・3年生による合唱を鑑賞

2.今後の取組について

○開校記念式典・入学式について

○学校運営協議会について

- 開校支援委員に、引き続き支援をいただけるよう依頼
- 公民館代表や生徒の保護者の方にも学校運営協議会の委員を依頼する予定

○基本構想について

①学びヶ丘中学校のグランドデザインについて

- 前回の支援委員会から、学校の教育目標の文言を整理
- 目指す生徒像には、多様性を大切にするという観点から「尊重」という言葉を加筆

②日課表、年間行事について

- 多様な生徒への支援を手厚くするために、学生サポーターを含めた複数体制で授業を行う
- 教育相談を定期的(年4回程度)に行い、生徒の困りや悩み等を把握していく
- 行事は、年間行事案で示したものだけでなく、開校後も生徒の意見を取り入れながら検討していく

○生徒募集について

- 入学予定者に、外国にルーツがある方が一定数いるが、まだ声が届いていない方もいるので、今後も周知活動を続けていくことが必要
- 学校が開校した後も、夜間中学を必要としている方に直接かかわる支援者や関係者が出席する会議の場の情報を提供していく
- 今回の入学予定者が、どうような方法で夜間中学のことを知ったかを調べることは、次年度以降の生徒募集においても効果的である。また、各SNSの同時投稿機能などを活用し、最小限の労力で様々な世代に声が届くようにしていくとよい